

# 生涯学習だより

周 教育課 生涯学習係  
☎(83)7021

松田 文化財探訪

統・町指定文化財とその周辺 その31

文化財保護委員 鈴木 一行

寺子屋まつだ  
夏休みの巻



図書館司書の仕事を学ぼうと、本好きの小学生が「子ども司書講座」に参加しました。本の貸し出しや地下のバックヤードの見学、本の案内・ポップづくりなどを体験しました。「本が好きなので参加しました」「ポップづくりが楽しかった」「貸し出しをやってみたかったので、参加してよかったです」と夏の仕事体験の感想を話してくれました。

50円

7月29日(金) お金のことを楽しく学ぼう

神奈川県金融広報委員会の広報アドバイザーをお招きして、小学生が「お金」について学習しました。「おこづかいゲーム」では、買い物をするポイントとして「ニーズ」と「ウォンツ」を考えることが大切だと学びました。「うわっ! お金が足りない。」といった声もあ

貯金箱を作ったりしながら、楽しくお金の使い方を学びました。

この他にも、寺子屋まつだ(夏休みの巻)では、ボッチャ体験やPOPダンスなどいろいろな体験をすることができました。子どもたちにとって、楽しくホットな夏でした。

ドバイザーをお招きして、小学生が「お金」について学習しました。「おこづかいゲーム」では、買い物をするポイントとして「ニーズ」と「ウォンツ」を考えて「うわっ! お金が足りない。」といった声もあがり、収入と支出を考えて購入する大切さを感じていました。その後、1億円の重さの塊を実際に持つたり、生と一緒だからがんばれた」と爽やかな笑顔でした。

## ●寺子屋中学生「勉強の夏」

中学生も暑さに負けず、学習に取り組みました。苦手な部分を復習したり、さらに難しい問題に積極的に取り組んだりしてがんばりました。

6日間を終えて、「仲間や講師の先生と一緒にがんばれた」と爽やかな笑顔でした。



薬師如来立像と聖観音菩薩立像(本尊)

## 延命寺(五)「觀音堂と二仏(2)」

県立歴史博物館の神野祐太さんによる三仏の調査は二回にわたって行われました。先ずは昨年1月に①聖観音菩薩立像と②薬師如来立像が、次いで12月に③薬師如来座像などが調査されました。

その結果、従来の説では①は鎌倉時代末期、②は室町時代前期の作とされてきましたが、両像共に南北朝時代の作品だということが分かりました。そして、特徴の類似性などから両像は「同一工房のそ

れぞれ別の作者が関わったと考えられる」という見解も出されました。加えてさらに興味深いことは、両像は「元々寒田神社付近にあったことから同社の本地仏であつた可能性も考えられるか」とのご指摘で

述べています。

仏像に限らず、ひとつの文化財を調査・研究するとき、広範囲の多くのデータを参考にしてその対象の本質に迫ります。ですから網羅的な調査(悉皆調査)が不可欠なのです。ひ

とつの町の悉皆調査が隣接県を含めた地域の文化を究明する手立てとなる訳です。

さて、①②とは別な厨子に安置

相模国風土記稿』や明治初期の『皇國地誌』にはその記載がありません。そして調査の結果、鎌倉初期とされてきた③も①②との類似性から南北朝期の作品だと判明しました。なお、③は顔の部分を後世に補修しています。そして、その面部は江戸初期につくられた南足柄市竹松の大松寺の薬師如来座像に似ていることから、同時期に補修された可能性があると神野さんは述べています。

相模国風土記稿』や明治初期の『皇國地誌』にはその記載がありません。そして調査の結果、鎌倉初期とされてきた③も①②との類似性から南北朝期の作品だと判明しました。なお、③は顔の部分を後世に補修しています。そして、その面部は江戸初期につくられた南足柄市竹松の大松寺の薬師如来座像に似ていることから、同時期に補修された可能性があると神野さんは述べています。